

奇跡 #9: 天地 (今も時々)
演者: アレックス・レスラー
2023年・8月・20日

概論: 希望に溢れて

しばらく休み...日常から少し離れたので、祈りに集中する時間が本当にありました。これは特に私の家族、このスタッフ、そして私たちの教会全体のための私の祈りです...

“どうか、望みの神が、信仰から来るあらゆる喜びと平安とを、あなたがたに満ちし、聖霊の力によって、あなたがたを、望みにあふれさせて下さるように。”

ローマ人への手紙 15:13 口語訳

喜び。平和。信頼。聖霊の力によって、私たちが希望にあふれることができるように。

今週私はポッドキャストでリー・ウォーレン博士のインタビューを聞きました。

彼は脳外科医、神経科学者であり、イエスの信者です。彼はトラウマ的な出来事を経験した人々と協力しています。彼はイラクの軍病院で救急脳外科医として勤務していたが、帰国後、19歳の息子を悲劇的な事故で亡くすることになる。つまり、彼はこれらのトピックを本で研究しただけではなく、それらと深い個人的なつながりを持っていた人物なのです。

彼は、「子供を亡くした後、どうやって立ち直り始めるのですか？」と尋ねました。

私自身は子供を亡くしたことはありません。近づいてきました。そのうちの一人を蘇生させて生き返らせる必要がありました。命のない我が子を腕に抱いた数分間、これほどの痛みを経験したことはありませんでした。これがあなたの話なら、本当に申し訳ありません。この質問に対する彼の答えがあなたに平安をもたらしますように。しかし、もしあなたが彼の喪失に共感できないとしても、彼が語る喪失感には共感できるでしょう。

彼の言葉は次のとおりです。「答えはこれに帰着します。信仰があるなら、こうした大きな出来事が起こる前に、起こったときに何が起こるかについての計画を立てておくことができれば幸いです。最悪のことが起こったとき、あなたの人生がその下にしっかりしたものの上に築かれている場合、他の人と同じように、しばらくの間クラッシュすることになるでしょう、あなたは疑念を抱き、怒り、そして他の人が経験するのと同じ人間の感情をすべて経験するでしょう。しかし、その信仰の床はあなたに着地する場所を与え、あなたはそれを下回ることはありません。私たちにとって壊滅的な出来事があり、毎日何が起こるかわかりませんでした。でも毎日神はどこかに現れるだろうすべての真ん中のような方法で。「神は失恋した人の近くにいます」という小さな方法の場合もあれば、友人からのタイミングの良いメールが私たちに少しだけ希望を与えてくれる場合もあります。事件が起きた後の最悪の時期であっても、少し光が見えたほんの少しの瞬間です。」

ここが私を魅了した核心でした...

「トラウマにより、真実だと思っていたことは何もないと感じたとしても、人生には真実だとわかっていることがいくつか必要です。これがあなたの脳内で起こっていることです。化学物質はすべて「それは真実ではない」と告げるものであり、私たちは知っていることを堅持する必要があります。私たちに

とってそれは復活です。私たちは息子にまた会えることを知っています、そしてそれが真実であれば、神の他の約束もすべて真実であるはずで、私たちの信仰の基盤のレンガを1つずつ元に戻すことができます。そしてそうするにつれて、あなたは希望を経験するでしょう。」

希望。そこにそれがある。

遷移: 今日はいエスの奇跡についての物語を読んでいきます。奇跡とは、自然界に超自然が侵入することです。私たちの利益のための愛と配慮によって動機付けられた神の力の現れです。

イエスは自分の奇跡を無計画に行ったり、行き当たりばったりではありませんでした。それらはすべて意味の層を担っています。玉ねぎみたいに。表面的には、神は人々のために何かをしています、より深いレベルでは、人々は神が誰であるかを啓示するものでもあります。

これが、このシリーズが「当時と今」と呼ばれる理由でもあります。これらの物語に登場するイエスと同じイエスが、私たちの物語にも現れるでしょう。

これがウォーレン博士が語った「真実」です。それがあなたに希望をもたらしますように。

MVMT 1: 混沌から目的、意味、美へ

イエスは私たちが「自然の奇跡」と呼ぶ一連の出来事を起こしました。それは彼が自然と対話し、自然に対する自分の力と権威を示すときです。今日は主に、イエスが水の上を歩き、嵐を静めた物語を見ていきます。しかし、そこに到達する前に重要な背景が少しあります。

混沌とした水域

聖書の創世記 1 章。

“はじめに神は天と地とを創造された。” 創世記 1:1 口語訳

“天国” - 僕たちの上の空

“地球” - 僕たちの下の土地

この一文は、これから宇宙で何が起こるかを要約しています。それは「すべて」を表現する方法です。

“地は形なく、むなしく、” 創世記 1:2a 口語訳

Tohu-wa-bohu - 「秩序がなく、無人の状態」。

これは創造前の状態について語る古代の方法でした。

「無」と呼べるもの。

NIVはそれを「形のない」「空虚」と訳しています。

キーポイント: 聖書の著者にとって、「存在しない」とは、「目的がなかった」、「秩序がなかった」ことを意味します。

次の行は同じことを強調しています。

“やみが淵のおもてにあり、” 創世記 1:2b 口語訳

翻訳によってはそれを「深い深淵」と呼ぶこともあります(これについては後ほど説明します)。

“神の霊が水のおもてをおおっていた。” 創世記 1:2c 口語訳

ですから、あなたには見えませんが、神は暗闇の中ですぐそこにいて、混沌に秩序をもたらす準備ができています。覚えておいてください、あの混沌とした水の中には秩序も住民も存在しませんでした。

スカイー

最初の 3 日間、彼は秩序のない暗闇を 3 つの秩序ある領域に分割します。

次の 3 日間、彼はその空間で生き物たちと暮らします。

彼の創造の頂点に立つ彼は、目的、秩序、美しさ、意味に満ち溢れた世界に人類を置きます。これは聖書全体を通して最も中心的なテーマの 1 つです。

神だけが混沌の秩序を保っている。

彼だけが「秩序のない、妨げられないもの」を取り上げ、

目的

美しさ

順序

意味

これについて少し考えてみましょう。

私たちが自分自身に正直であれば、これらのことはすべて人間の心の深い叫びです。

目的を持つこと。

創造の美しさを楽しむために。

人生は単なる偶然ではないことを知ること。

自分の人生が意味に満ちていることを知ること。

こういったものを探するのはあなたの心の奥底にあります。だからこそ、それはあらゆる人の追求なのです。たとえその追求がすべて間違った方向に向かっていたとしても。たぶんそれはあなたの物語です。あなたは、間違った人々や場所に目的、秩序、美しさ、意味を求めています。もしかしたら、それは仕事、人間関係、物事、社会的地位、美しさの文化的基準、成功、酩酊物、カルトや宗教、政治、スポーツや趣味などにあるかもしれません。

私たちは存在を作ることの意味しています。それを探しに行くのは自然なことです。

しかし、聖書の最初の節から、私たちは次のように教えられています。神だけがあなたが探しているものを提供できるのです。彼だけが混乱を乗り越え、そこを生命と可能性に満ち溢れさせることができるのです。

そしてこれは、神があなたをどのような存在として創造されたのかを発見するための招待状でもあります。イエスのもとの来るまで、あなたは決して完全になることはありません。聖書は、神が誰で

あるか、そしてあなたがどこでどのように創造されたのかを発見するようにあなたを誘うラブレターのようなものです。

聖霊が混沌の上に留まり、動き出す準備ができているとき、聖霊はここにいて、あなたにも聖霊をあなたの混沌の中に招き入れてほしいと望んでおられます。やってみなよ。詩編作者が言っているように、彼を家に招き入れてください。“**主の恵みふかきことを味わい知れ、主に寄り頼む人はさいわいである。**” 詩篇 34:8 口語訳

深淵

黙示録の中で、私たちが新しい救い出された創造の写真を手に入れると、「そして海はもうなくなる」と言われますが、これは奇妙に思えます。水域の何が問題になっているのでしょうか？

海、あるいは闇の深淵、シェオル、死者の世界、さまざまな名前が使われています...しかし、「海」はジャンク引き出しの用語です。ここは地上の反乱、混乱、危険の中心地と考えられていました。黙示録と預言者ダニエルの「獣」が現れて創造物に大混乱をもたらすのは海からです。混沌とした水は、真の霊的悪への源であり、入り口であると考えられています。

ですから、神は混乱を命じるだけではありません。彼はその中に潜む混沌の力を打ち負かします。彼らは海の勢力であり、きっぱりと対処されるでしょう。

イエスが人間から悪霊を追い出すとき、なぜ悪霊が豚の中に入って崖から海に飛び込むのか不思議に思ったことはありませんか？彼らは家に帰るつもりです。もうわかりますね。

それでレビューのために：

1. 混沌とした海に秩序を与えることができるのは神だけです。
2. 深淵は混沌の怪物たちの本拠地、地獄であると考えられていた。

遷移: Why the background? Hopefully its clear. But sometimes the Bible assumes you have read other parts of it and that should help you understand whats going on. The disciples knew both of these ideas. It shaped their worldview. It was the “truth” that they held on to. It’s all about to come together for them in a way they didn’t expect.

聖書のヨハネ6章。

MVMT 2: イエスは嵐を静める + 水の上を歩く 7

“夕方になったとき、弟子たちは海べに下り、舟に乗って海を渡り、向こう岸のカペナウムに行きかけた。すでに暗くなっていたのに、イエスはまだ彼らのところにおいでにならなかった。その上、強い風が吹いてきて、海は荒れ出した。四、五十丁こぎ出したとき、イエスが海の上を歩いて舟に近づいてこられるのを見て、彼らは恐れた。すると、イエスは彼らに言われた、「わたしだ、恐れることはない」。そこで、彼らは喜んでイエスを舟に迎えようとした。すると舟は、すぐ、彼らが行こうとしていた地に着いた。”

ヨハネによる福音書 6:16-21 口語訳

イエスの弟子たちはガリラヤ湖(しばしば「湖」とも呼ばれます)にいました。

イエスの弟子の中には漁師を生業とする人もおり、海の航海方法をかなりよく理解していました。おそらく彼らは深海へ出かけることはあまりなく、泳ぎ方も知らなかったのでしょう。

覚えておいてください…ユダヤ人の思想の奥深くには、海は危険で荒々しく混沌とした力であるという信念があります。旧約聖書の「深み」は、多くの場合、地獄そのものへの入り口であると考えられていました。深海の混沌を手なずけるほど強力な唯一の力は、創造主である神ご自身です…ユダヤ教の聖典に精通していた12人は、この光の中で海を見たでしょう。

ガリラヤ湖では、どこからともなく嵐が起こることがよくありました。それは海を囲む地形と、前線が気づかれずにどれくらいの速さで進入するかに関係します。こんなことが起こったとき、あなたは海に閉じ込められることを望まなかったでしょう。

弟子たちは海の真ん中、嵐の真ん中、小さな船の中で、すでに危険な状況に陥っていることに気づきます。

祥連

しかし、それに加えて、彼らは物理的な要素だけが彼らに敵対しているのではなく、まさに闇の王国が彼らの周りにも迫っているという深い確信を持っています。

そして何が起こるのでしょうか？

嵐の真っ只中にイエスが現れます。

マタイとマルコの福音書の両方で、イエスが弟子たちが見えるようになるずっと前から彼らを見ることができたことがわかります。実際、マルコの福音書には次のように書かれています。

“夕方になったとき、舟は海のまん中に出ており、イエスだけが陸地におられた。ところが逆風が吹いていたために、弟子たちがこぎ悩んでいるのをごらんになって、夜明けの四時ごろ、海の上を歩いて彼らに近づき、そのそばを通り過ぎようとされた。彼らはイエスが海の上を歩いておられるのを見て、幽霊だと思い、大声で叫んだ。”

マルコによる福音書 6:47-49 口語訳

私はその細かい点が大好きです…「イエスは彼らの横を通り過ぎようとしていた。」イエス様と一緒にいたら楽しかったらと思うます。彼はユーモアのセンスがあったと思います。

それは重要なことではありませんが、面白いです(おそらく彼らはその瞬間にはそう思わなかったでしょう)

ここがポイントです…

イエスは、弟子たちがイエスがそこにいることを知るずっと前から、弟子たちが困っているのを見ました。

今日の私たちにも同じことが当てはまります。私たちの現在の状況との関連性はかなり明白ですが、それは私にとって大きな慰めになります。私たちの現在の状況の嵐の真っ只中に、イエスが私を見て、私たちを見て、私たちの必要性を知っていたことを知って、私は非常に慰められます。私たちがそれに気づくずっと前から。

イエスは私たちが直面していることに気づいていないわけではありません。彼は驚かなかった。彼は影響を受けていないわけではない。そして神は、私たちがどのように対処するかを考えて座っているわけではありません。

イエスは嵐の中を弟子たちに向かって進みます。

これはこの物語の中で私のお気に入りの部分の1つです。イエスは、ご自分の民が直面している嵐を見ているだけでなく、実際にその嵐の中へ入って行かれます。そうするとき、彼は乾いた海岸の快適さを離れ、嵐の濡れた危険と混乱の中に入って助けに行きます。

これは聖書全体で継続的に繰り返されるメッセージです。混乱に陥ったとき、私たちは自分自身を掘り起こそうとはしません。神が私たちのところに来て救いの手を差し伸べ、私たちが受け入れるなら救われます。

この物語も同じ真実を示しています。

イエスの弟子たちは、イエスが到着したときイエスだと気づかなかった

彼らはイエスを幽霊だと思っていました。人は水の上を歩けないからです。

誰かが水の上を歩いているところを想像できますか？嵐が発生し、視界はすでに困難になり、波が上がったり下がったり...そして、この物体はどんどんあなたに近づいてきます。

彼らは恐怖を感じていたようです...そしてあなたもそうではないでしょうか？

イエスの弟子たちと同じように、イエスが私たちの状況に足を踏み入れたとき、私たちもイエスに気づかないことがよくあります。なぜなら、イエスは私たちがまったく予期しないときに、私たちが予期しない形で現れるからです。

嵐により、イエスの弟子たちは平衡感覚を失いました。

これらの専門的な道案内人にとって、彼らの専門知識が役に立たない何かが起こりました。彼らのボートは今では救命いかだになっています

彼らは平衡を失ってしまったのです。彼らは北、南、東、西がどの方向なのかを知る能力を失っています。彼らは漕いでいますが、無駄です。

「嵐」の季節には、私たちも平衡感覚を失いやすくなります。私たちに自尊心、価値、快適さをもたらしてくれるものの一部は、すべて奪われつつあります。

結果は？

嵐は弟子たちに、人生で何が本当に重要なのかを明確にさせました。

すべてが剥ぎ取られたとき、あなたに残るものは...弟子たちにとって、それは自分たちの人生であり、お互いであり、そしてイエスでした。

遷移:

返事: 天のことを考えると...

彼らは決して同じ目で海を見ないと約束します。

自然との奇跡によって、彼は人々の自然に対する見方を永遠に変えるでしょう。

かつて彼らが恐れるすべてを象徴していたものは、ひっくり返されることになるでしょう。

それは、創造の混乱を飼いならした同じ神がイエスという人格の中に到来したからです。彼は彼らの混乱も手なずける。

ルダン

かつてユダヤ人を異邦人から隔てるために海が使われていました。それは自然の一部であるため、保護し分離するために神が与えた壁であると考えられていました。

イエスはそれを橋として異邦人のところへ行き、良いたよりを伝えます。

彼はすべてをひっくり返します。

彼らは今、海を見て何を思うのでしょうか？ かつては死を象徴していたものが、今では生となっている。償還されました。混乱と破壊の力のすべてがイエスに注がれることとなります。彼らは彼に対して最悪のことをするだろう。彼らは彼を滅ぼすために共謀した。そして彼らは最大の勝利を収めたと思ったその瞬間、実際には究極の敗北を経験していたのだ。

パウロの言葉を借りれば、

“この世の支配者たちのうちで、この知恵を知っていた者は、ひとりもいなかった。もし知っていたなら、栄光の主を十字架につけはしなかったであろう。”

コリント人への第一の手紙 2:8 口語訳

死が闇の力の最大の武器であるなら、どうやってそれを克服しますか？ 人生によって。死さえもイエスを押さえつけることはできませんでした。3日目に彼は死を克服する力を証明した。

パウロはこの真実を喜び、

“この朽ちるものが朽ちないものを着、この死ぬものが死なないものを着るとき、聖書に書いてある言葉が成就するのである。「死は勝利にのまれてしまった。死よ、おまえの勝利は、どこにあるのか。死よ、おまえのとげは、どこにあるのか」。死のとげは罪である。罪の力は律法である。しかし感謝すべきことには、神はわたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちに勝利を賜ったのである。だから、愛する兄弟たちよ。強く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているからである。”

コリント人への第一の手紙 15:54-58 口語訳

彼はあなたには生きられない人生を生きました。死ぬことはできなかった死を遂げた。死を克服して、あなたも彼のように永遠の命を経験できるようになりました。

もしかしたら今日がその決断なのかもしれない。私も舟に乗っている弟子たちと同じように、救ってくださいと大声で叫ぶつもりです。あなたが彼を捜せば、彼はあなたに見つかるでしょう。

おそらくあなたはすでに最終的な決断を下したかもしれませんが、嵐があなたを動かしているのです、「しっかり立って、何にも動かされず、常に主の働きに身を捧げてください、あなたの努力は無駄ではありません。」という言葉聞く必要があります。

もしかしたら、それは物語の中の何かに対する反応かもしれません。

私たちはスペースを作りたいし、聖書が私たちにそうするように教えていることを試してみたいと思っています。反射する。実際に家に持ち帰って毎日できるものを真似してみましょう。

ライトダウン、スターブライト、キー、詩篇を読んでください…。

神があなたのことを気にかけているという、私たちへのメッセージが自然の中に刻まれています。

マインドフル - 心に呼び掛けること。検討する。について考える。

これらすべての創造者はなぜ私たちのことを考えるのでしょうか?なぜ彼は私たちを愛してくれるのでしょうか。私たちのために自分自身を犠牲にしますか?彼が私たちのことをそんなに気にかけてくれるとは、私たちは何者でしょうか?

- “1 主、われらの主よ、あなたの名は地にあまねく、いかに尊いことでしょうか。あなたの栄光は天の上であり、
2 みどりごと、ちのみごとの口によって、ほめたたえられています。あなたは敵と恨みを晴らす者とを静めるため、あだに備えて、とりでを設けられました。
3 わたしは、あなたの指のわざなる天を見、あなたが設けられた月と星とを見て思います。
4 人は何者なので、これをみ心にとめられるのですか、人の子は何者なので、これを顧みられるのですか。
5 ただ少しく人を神よりも低く造って、栄えと誉とをこらむらせ、6 これにみ手のわざを治めさせ、よろずの物をその足の下におかれました。
7 すべての羊と牛、また野の獣、
8 空の鳥と海の魚、海路を通うものまでも。
9 主、われらの主よ、あなたの名は地にあまねく、いかに尊いことでしょうか。”

詩篇 8:1-9 口語訳

星を思い出してください - 神はあなたにどのように話しかけていますか?

祝祷と閉会